

ひろい心 通信

2学期制の前期の後半が始まります！

学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。長い夏休みの体験を通して、成長した姿を見せてくれています。これから、社会見学や修学旅行、小野江小学校創立150年をテーマにした文化祭など、行事が続きます。



子どもたちが生き生きと活動できる楽しい学校づくりを保護者・地域の皆様と手を携え、引き続き進めてまいります。

小野江小がめざす学校の姿とは？

8月2日（水）に小野江小学校学校運営協議会（CS）主催の「熟議を活用した意見交換会」がありました。保護者、地域住民、教職員のそれぞれの立場から、「小野江小がめざす学校の姿」について、活発な議論が進められました。

話し合いが進む中で、「生き生きとした楽しい学校」「コミュニケーションを通して、学校・家庭・地域の距離が縮められる学校」「子どもが安心して、生き生きと過ごせる学校」「居心地のいい学校」に意見が集約されていきました。

めざす学校像の実現にむけて、保護者、地域住民、教職員それぞれの立場でできることを考えました。保護者からは「家族での子どもとのコミュニケーションを充実させる」「子どもの変化にきづく」「大人から笑顔であいさつをする」、地域の方からは「ボランティア活動で子どもとつながる」「笑顔で子どもに声をかける」「子どもの話をよく聴く」、教職員からは「悩みが話せるクラスづくりをする」「楽しい、おもしろい、わかる授業づくりをする」「一人一人をよく見て、子どもをほめる」などの意見が出されました。どの意見も子どもの健やかな成長を願うものでした。意見を意見だけで終わらせるのではなく、保護者・地域住民・教職員それぞれの立場で、できることから始めることが大切です。

理想とする学校の実現をめざし、力を合わせていきましょう！